多摩市立瓜生小学校

学校だより

平成２９年度　第１０号
平成２９年１２月２５日

「ありがとう」の気持ちを伝える

校長　吉田　正行

ある日、２年生の男の子が校長室に手紙を持ってきました。その手紙には「校長先生へいつも九九けんていを見てくれてありがとうございます」と書かれていました。「こんなすてきな手紙をもらって校長先生はうれしいなあ」と伝えると、その子は何とも言えないにこやかな笑顔で帰っていきました。また、ある女の子は毎朝校門の所で挨拶してくださる見守りの方に「いつも見守ってくれてありがとうございます」という感謝の気持ちを伝える手紙を持って行きました。「ありがとう」は伝えた人も伝えられた人も嬉しくなる魔法の言葉です。後で担任の先生に聞くと、道徳の授業で「おせわになっている人にかんしゃして」というテーマで話し合い、感謝の気持ちを伝える手紙を書いたそうです。

さて、今日で二学期が終了となります。学習面だけでなく、相手を思いやり、協力する力が大きく育った学期でした。明日から冬季休業日に入りますが、この時期は年末年始と重なり、一年間の生活を振り返るとともに、新しい年を迎える大切な時期になります。今年お世話になった方々だけでなく、親子や家族などの近い関係の中でも「ありがとう」の気持ちを言葉や文字にしてきちんと伝えてほしいと思います。

感謝状

多摩市立瓜生小学校　殿

貴校は小学校児童を対象とした人権の花運動に積極的に協力され人権思想の普及高揚に多大な貢献をされましたことに深く感謝の意を表します

平成二十九年十二月十日

東京法務局長　秋山仁美

東京都人権擁護委員連合会長　鈴木清子

人権尊重の活動が認められました

今年、瓜生小学校では、全校で「ど根性ひまわり７世」の花を咲かせるとともに、「一人一人が大切にされ、いじめのない明るく楽しい学校をみんなでつくっていこうという心の花」を咲かせる取組をしてきました。さらに一年生が中心となって「人権の花」運動にも取り組みました。その成果が認められ、東京法務局、東京都人権擁護委員連合会から感謝状をいただきました。これからも教育活動の基盤となる「人権意識の向上」に努めて参ります。

今年とれた種を袋に入れ、上のカードとともに全児童に配布しました。来年の５月頃が種のまき時です。よろしくお願いします。

今年も保護者、地域の皆様には、本校の教育活動に対するご理解と学校を温かく支え、ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。来年も子供たちが安心して生活し、落ち着いた環境の中で学習が進められるよう、学校と家庭、地域の結びつきをより強固なものにしていきたいと思います。引き続き瓜生の子供たちをよろしくお願いいたします。

皆様にとって新年が幸多い年になることをお祈りしています。よい年をお迎えください。

＜挨拶・返事＞　自分から気持ちよい挨拶や返事をしましょう。
＜優しい言葉＞　優しく心が温まる言葉づかいで話しましょう。
＜学習・読書＞　家庭での学習や読書の時間を決めて取り組みましょう。
＜親切な行動＞　親切な行動、助け合いを毎日欠かさず実行しましょう。